

研究協力をお願い

岐阜県総合医療センターでは、下記の研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は、下記のお問い合わせ先までお願いいたします。

なお、研究への参加をお断りになった場合でも、将来にわたって当センターにおける診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究名：臨床検体から検出されたグラム陰性桿菌の薬剤耐性遺伝子の解析

1. 研究対象者および研究対象期間

2023年7月1日から2025年12月31日までに当院を受診して、臨床検査として細菌検査を施行された患者様

2. 研究目的・方法

大腸菌を含むグラム陰性桿菌はヒトに種々の感染症を生じさせますが、近年抗菌薬に対する耐性化が大きな問題となっています。この研究では、患者様の検査材料から検出されたグラム陰性桿菌の薬剤耐性因子の解析を目的としています。

研究は以下の手順で実施いたします。

- ① 岐阜県総合医療センターにおいて、患者様の検査材料から検出されたグラム陰性桿菌について薬剤感受性を調べる。そして、この菌株のDNAを分離・精製する。
- ② 分離・精製されたDNAは、岐阜医療科学大学において遺伝子増幅法（PCR法）によって薬剤耐性に関与する遺伝子を検出する。
- ③ 薬剤感受性試験結果と薬剤耐性遺伝子の検出結果について総合的に解析することによって、抗菌薬に対する耐性の原因を明らかにする。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

研究に用いる試料・情報の種類は以下の通りです。

年齢、性別、検査材料名、細菌検査結果（塗抹検査結果、同定菌名、薬剤感受性検査、耐性因子検査）

4. 個人情報の取り扱い

本研究は個人情報の取り扱いに関して、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」及び適用される法令等に従い、研究計画書を遵守して実施します。お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては、仮名加工の処理を行った後に対照表にまとめて厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。情報を取り扱う研究者は、研究情報を取り扱うコンピューターをパスコードで管理し、情報の紛失や遺漏等を防止します。また、同意の撤回（中止の申し出）があったデータ等については、登録時からすべてのデータを破棄します。

5. お問い合わせ先

岐阜県総合医療センター

中央検査部

大西 紀之

TEL：058-246-1111

岐阜医療科学大学

保健科学部 臨床検査学科

中山 章文

TEL：0575-22-9401